

## ◎ 栄養部門事業報告

### 1 行事及び内容

#### (1) 研究委員会

平成29年2月3日(金) 年間反省とまとめ(教育会館)

#### (2) 研究会・研修会

##### ア 授業研究会

平成28年10月25日(火) 上天草市立阿村小学校  
第6学年 学級活動「自分の食生活を見直そう  
～和食の魅力再発見～」

授業者 教諭 林田 耕司 先生  
栄養教諭 福吉 希美 先生  
指導助言 天草市立御所浦小学校  
校長 西川 哲夫 先生



事後研 前半・・・授業研究会  
後半・・・グループ協議

「栄養教諭が行う肥満指導に参画していく上での課題と方策」

#### (3) ブロック別研修会(天草郡市学校給食会 栄養教諭・学校栄養職員部会の研修)

##### ア 上天草ブロック

第一回 平成28年5月13日(金) 年間計画  
第二回 平成28年7月21日(木) 天草郡市学校給食研究協議大会実践発表内容検討  
第三回 平成28年12月9日(金) 研究授業方式による衛生管理研修会(登立小学校)  
第四回 平成29年2月17日(金) 年間反省・給食記念週間取組実践報告

##### イ 天草ブロック

第一回 平成28年5月13日(金) 年間計画  
第二回 平成28年7月21日(木) 魚介・海藻レシピ検討  
第三回 平成28年11月11日(金) 魚介類おすすめレシピ集作成  
第四回 平成29年2月24日(金) 年間反省・給食記念週間取組実践報告

### 2 反省

本研究所栄養部門の授業研究会では、食に関する学習の指導力向上を目指して、阿村小学校の学級活動の授業を参観させていただいた。授業者自評では、

- ①和食の魅力をもっと知り、自分の食生活に取り入れていってほしいと考えた。
- ②情報量が多すぎて、内容がかけ足になってしまった。
- ③児童に考えさせる時間をもっと多くとるべきだった。

の三点が挙げられた。指導・助言の先生からは

- ①自分たちの食生活の課題や、その原因について話し合ったり見つけさせるときに、栄養教諭としての専門性を生かせるのでは。
- ②児童の実態を的確につかみ、指導のねらいと目指す児童の姿がもう少しはっきりしているとよい。
- ③自己決定に導き、実行するための事後指導が大切。

ということを教えていただいた。

栄養教諭が行う肥満指導の方策のひとつとして、姫戸小学校では、「月に一回、給食に大豆を10粒出し、一口30回かんで食べる。」、という取組を保・小・中連携して継続して行っているとのこ

とであった。無理なく、また、今すぐにでも会員全員が取り組むことが可能な、とても良い取組であると賛同の声が挙がっていた。

授業研究会に取り組むにあたっての研究委員会の反省と来年度への志向としては、

①1学期中に学年、教科・単元を決定しておく。

②指導案締め切りまでの流れを明確にしておく。

③研究委員会で指導案検討を行う。

などが挙げられた。来年度はもっとスムーズに進めることができるように改善したい。

本研究会で学んだことを所属校、また配送校、担当校における指導に役立てていかなければならない。栄養教諭・学校栄養職員の職務は「給食管理と食に関する学習を一体のものとして行っていく」ことであり、日常の給食業務と並行して、学校給食が生きた教材となるような授業づくりについても日々研鑽を積んでいかなければならない。